



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <http://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマール

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼管理本部長

(氏名) 米畑 博文

TEL 045-415-8821

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,165	5.1	138	—	91	—	31	—
27年3月期第3四半期	5,864	△16.8	△41	—	△111	—	△159	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	1.17	—
27年3月期第3四半期	△5.86	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第3四半期	8,733	—	5,497	—	63.0	202.05
27年3月期	9,695	—	5,465	—	56.4	200.87

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,497百万円 27年3月期 5,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
28年3月期	0.00	0.00	0.00	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	△5.9	150	—	70	—	10	—	0.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想を省略しております。詳細は添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	27,230,825 株	27年3月期	27,230,825 株
28年3月期3Q	20,209 株	27年3月期	19,958 株
28年3月期3Q	27,210,765 株	27年3月期3Q	27,212,845 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)におけるわが国経済は、実質所得が持ち直す一方で消費マインドは持ち直しに足踏みが見られるなど個人消費はやや力強さに欠け、海外経済の先行き不透明感から設備投資においても伸び悩みましたが、政府や日本銀行の経済・金融政策の効果もあり、企業業績や雇用環境は総じて改善の動きが見られるなど、各項目にばらつきが見られるものの全般的には緩やかな回復基調が続きました。

このような経営環境下において、当社ではコーポレート・ビジョンとして「Diversity with Brilliance」を掲げ、時代や環境の変化への対応力を高めることを目指し、事業活動を展開してまいりました。

店舗運営面におきましては、大手GMSとの協業により「Shop in Shop」形態である新業態店舗のテスト・マーケティング行なっておりましたが、12月1日より、新ショップ・ブランド名「Velicia」として16店舗を正式に展開することになりました。また、FacebookをはじめとしたSNSによる情報発信の強化、既存店舗の改装、各店舗主催による地域展開催、外部各種催事への参加などを通じて、お客様の多様なご要望にお応えし、既存店売上高につきましては平成27年1月より12か月連続で前年実績を上回っております。

また、損益面におきましては、仕入ルートの見直しによる原価低減を図ると共に、本社部門のスリム化をはじめとした経費削減に努め、営業損益の改善に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,165百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は138百万円(前年同期は営業損失41百万円)、経常利益91百万円(前年同期は経常損失111百万円)、四半期純利益31百万円(前年同期は四半期純損失159百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は8,733百万円となり、前事業年度末に比べ961百万円の減少となりました。これは主に、商品在庫の減少及び短期借入金の返済によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は3,235百万円となり、前事業年度末に比べ993百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は5,497百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,283	1,794
受取手形及び売掛金	911	1,025
商品	4,738	4,270
その他	535	478
貸倒引当金	△0	△6
流動資産合計	8,468	7,562
固定資産		
有形固定資産	402	390
無形固定資産	9	8
投資その他の資産		
敷金及び保証金	743	704
破産更生債権等	884	884
その他	80	76
貸倒引当金	△894	△892
投資その他の資産合計	814	772
固定資産合計	1,226	1,171
資産合計	9,695	8,733
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714	970
短期借入金	2,800	1,696
未払法人税等	33	55
返品調整引当金	5	3
訴訟損失引当金	12	0
その他	545	399
流動負債合計	4,111	3,125
固定負債		
ポイント引当金	23	25
その他	94	84
固定負債合計	118	110
負債合計	4,229	3,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,972	3,972
資本剰余金	3,070	1,483
利益剰余金	△1,587	31
自己株式	△3	△3
株主資本合計	5,453	5,485
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	12
評価・換算差額等合計	12	12
純資産合計	5,465	5,497
負債純資産合計	9,695	8,733

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
売上高	5,864	6,165
売上原価	2,840	2,913
売上総利益	3,024	3,252
販売費及び一般管理費	3,066	3,113
営業利益又は営業損失（△）	△41	138
営業外収益		
雑収入	11	4
その他	2	1
営業外収益合計	13	5
営業外費用		
支払利息	42	25
支払手数料	34	20
その他	7	5
営業外費用合計	83	51
経常利益又は経常損失（△）	△111	91
特別損失		
店舗撤退損	9	13
その他	—	1
特別損失合計	9	15
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△121	76
法人税、住民税及び事業税	38	44
法人税等合計	38	44
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△159	31

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成27年6月1日開催の取締役会決議に基づき、同日をもって資本準備金の減少及び剰余金の処分を行いました。

1. 資本準備金の額の減少

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

①減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	1,587,134,143円
-------	----------------

②増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,587,134,143円
----------	----------------

2. 剰余金の処分

会社法第452条の規定に基づき、上記1で振り替えた後のその他資本剰余金を、さらにその他利益剰余金に振り替え、欠損を解消しております。

①減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,587,134,143円
----------	----------------

②増加する剰余金の項目及びその額

その他利益剰余金	1,587,134,143円
----------	----------------

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。